

美郷町商工会・美郷町企業連携協議会 合同入社式 新社会人としての決意新たに



▲新入社員を代表して決意を述べる木村さん

3月25日に役場庁舎で美郷町商工会と美郷町企業連携協議会の合同入社式が行われ、この春、町内企業に入社する新社会人7名と企業関係者のほか、来賓として松田町長と高橋町議会議長などが出席しました。
式では高橋隆治町商工会副会長と齊藤伸英町企業連携協議会会長のあいさつに続き新入社員の紹介が行われ、新入社員を代表して木村裕也さんが「先輩方が築いてきた歴史と伝統に恥じぬよう、自分らしさを忘れない志を持って業務に励んでまいります」と新社会人としての決意を述べました。また、式に引き続き、松田町長と九嶋敏明北都銀行執行役員が、社会人としての心構えなどについて講演を行いました。

住宅用火災警報器の設置は5月31日まで！ 春の火災予防運動が行われました

春の火災予防運動が4月3日から4月9日までの7日間行われました。運動の一環として、町消防団員が町内にチラシを配布しながら、火の取り扱いの注意と5月31日までに設置が義務化となる住宅用火災警報器の必要性を呼びかけました。
町では住宅用火災警報器の購入費に補助金を交付しています。補助金の申請期限は、設置が義務化となる5月31日までとなっていますので、お早めの対応をお願いします。※住宅用火災警報器購入費補助金については23ページをご覧ください。



▲防火広報に出勤する町消防団員

ご長寿おめでとうございます 渡部タミノさん、若畑勝司さんが満100歳に



▲松田町長から長寿祝い金を受け取る若畑さん

3月25日に渡部タミノさんが満100歳の誕生日を迎えられました。この日、渡部さんのもとを訪れた松田町長は、渡部さんに長寿祝い金を手渡し「これからもお体に気をつけてお元気でいてください」とお祝いの言葉を述べました。旧雄物川町生まれの渡部さんは、長男を育てた後、美郷町上深井で両親と妹と暮らし、平成5年から町内の特別養護老人ホームに入所しています。100歳を迎えた現在も、施設のイベントに参加するなど、入所者の皆さんと楽しく過ごされています。
また、4月20日には若畑勝司さん（黒沢）が満100歳の誕生日を迎えられ、松田町長から若畑さんに長寿祝い金が贈呈されました。妻のリエさんとともに、主に農業を営みながら4人の子供を育てあげた若畑さん。「まだ70歳、80歳ぐらいの気持ちです」と語る若畑さんの言葉のとおり、農繁期には畑に出て軽作業をするほどお元気な様子でした。
渡部さん、若畑さん、満100歳のお誕生日おめでとうございます。

がんばろう東北 復興チャリティ うたとおどりの 美郷フェスティバル2011

4月17日に美郷町南体育館で第22回全県素人うたとおどりの美郷フェスティバル2011（同実行委員会主催）が開催されました。今年の大会は、3月11日に発生した東日本大震災の被災地への支援を目的に開催され、収益金の一部と会場集められた募金を日本赤十字社を通じて寄付しました。
大会には県内外から参加し予選を勝ち抜いた総勢51組が出場。カラオケ、新舞踊、民謡の3部門で自慢の「うたとおどり」が披露され、民謡の部に出場した嵯我郁子さん（秋田市）が初の最優秀賞を受賞しました。町内の入賞者は次のとおりです。

- | | | |
|----------|--------|---------|
| 【カラオケの部】 | AKT賞 | 坂本 舞子さん |
| 【新舞踊の部】 | 第2位 | 高橋 律子さん |
| | 審査員特別賞 | 伊藤伊津子さん |
| 【民謡の部】 | AKT賞 | 稲川 栄治さん |



▲写真左側から坂本舞子さん、高橋律子さん、伊藤伊津子さん、稲川栄治さん

美郷町の開票結果

	計	男	女
当日有権者数	18,431人	8,552人	9,879人
投票者数	13,254人	6,201人	7,053人
投票率	71.91%	72.51%	71.39%
●有効投票数	13,171票	●無効投票数	83票
●不受理	0票	●持ち帰り	0票



美郷町公民館で行われた開票作業



町内21カ所の投票所で投票が行われた

秋田県議会議員一般選挙 美郷町の投票率は71.91%

任期満了に伴う秋田県議会議員一般選挙（大仙市仙北郡選挙区・定数5）が、4月1日に告示され、4月10日に投票が行われました。
投票は町内21カ所の投票所で午前7時から午後7時まで行われ、午後8時から美郷町公民館で即日開票されました。
美郷町の開票結果は次のとおりです。

風

「今だからこそ」

美郷町長 松田 知己



行政協力員会議であいさつを述べる松田町長

津波で被災した地にも、原発事故で被災した地にも、平等に春は届いています。暖かさがいくらかでも被災者の心を癒すことを願いたいと思います。
さて、震災からひと月半経過しましたが、なかなか余震が収まりません。数多ある報道の中には、余震はここ数年注意が必要との情報もあり、やはり心配なところでは、言の心配の中心にあるのは、言

うまでもなく明治29年に発生した陸羽地震（六郷地震とも言われています）の再来です。ドラえもんのような「ひみつ道具」があれば、千屋断層の状況を見てきたいものですが、私たちに出来ることはやはり備えることしかありません。
この度、町がみなさんにお配りした「地震防災マップ」は、防災行政無線の整備や自主防災組織の設立など一連の「安全安心のまちづくり」の一環として作成しましたが、偶然、東日本大震災と同時期となりました。みなさんには、今後の余震のことなども視野に入れ、マップに掲載しているポイントとなる点について、備える意味でどうか実践してもらいたいと思います。
まず実践してほしいのが、「わが家の防災対策」についてです。点検と対策をお願いします。次は「非常時持出品

の準備です。そして「地域の危険度マップ」で、自宅や車庫などがデータ上どういう危険度の地域にあるのかを確認し、「耐震診断問診表」に基づき簡易診断をしてください。結果を踏まえて対応を検討する方は、町が準備している耐震診断や耐震補強工事の補助金を活用してください。もちろん「地震発生！その時どうする？」などは必ず目を通し、確かな行動を再確認していただきたいと思います。
そして今回は、壁などのフックに掛けておいてすぐに見られるよう、ひも付きの袋に入れて配布しました。書類として積み重ね、どこに置いたか分からなくならないよう、できればフックに掛けていただきたいと思います。
直下型地震が必ず発生する訳ではありませんので、過剰な不安は禁物ですが、災害の怖さを実感した今だからこそ、備えは万全を期したいものです。

※耐震診断・耐震改修の補助制度については28ページをご覧ください。